

カニ釣り

<プログラムの概要>

大房岬の海辺にはたくさんの生き物が棲んでいます。その中でも代表的な生き物であるカニを釣ります。岩の隙間にエサをつけたタコ糸をたらしカニを誘いだします。(ザリガニ釣りと同じ要領)

<ねらい>

カニ釣りを通して海の生き物に触れ、海辺の環境や生き物に対する興味を持つきっかけを作る。

場所

タイマイ浜、オオトリ浜

時間

1時間～2時間

準備物

【自然の家からの貸出備品】

カニ釣り用竹竿、見本用竿、救命用うきわ、バケツ、磯の生き物シート
※救命用うきわは必ず持って行ってください。

【持ち物】

水筒、タオル、軍手、雨具、タコ糸(1m/人程度)、エサ(スルメや煮干など※細長いものが良い)

服装

濡れても良い服・靴(サンダル不可)、帽子

準備

<時間>

出発前

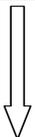
【1.備品のうけとり】

- ◆事務所にて貸出備品を受け取る。

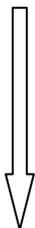
実施の流れ

<時間>

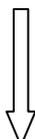
0:00



0:20



0:25



0:30

【2.集合・磯場へ移動】

- ◆トイレを済ませ集合場所に集合。
- ◆持ち物・服装チェック。
- ◆引率者を先頭に、磯場へ移動。

【3.磯場到着・オリエンテーション】

- ◆導入の話
- ◆注意事項説明
 - ①遊泳禁止…潮の流れが速い場所があるため、海水がひざ上以上になる場所に行かない。
 - ②危険な生き物(クラゲなど毒のある生き物)に触らない。
 - ③潮が引いた後の岩の上は滑りやすいので注意して歩く。
 - ④指定した範囲内でカニ釣りを行う…安全管理のため、引率者の目の届く範囲を指定する。
 - ⑤休憩・水分をしっかりとる…海での活動は体力を消耗しやすいため、早めの対応をとる。
 - ⑥日射病・熱中症に注意する…磯周辺には日陰がないため、必ず帽子を着用する。

【4.カニ釣りの仕方説明】

- ①磯場で岩の隙間など、カニが潜んでいる(もしくは潜んでいそうな)穴を探す。
 - ②穴にエサを垂らし、カニを誘う。
 - ③カニがはさみでエサをしっかり挟むまで待つ。
 - ④カニがエサを挟んだらゆっくり竿を引き上げる。
- ※見本用の竿を用いて、レクチャーしたほうがイメージしやすい。

【5.仕掛け作り】

- ①カニ釣り用竿の先にタコ糸を結ぶ。
- ②タコ糸の先にエサを結びつける。
- ③小さい石をタコ糸に結びつけて重りにする。

うら面へ続く



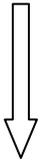
実施の流れ

<時間>

0:40

【7.スタート】

- ◆時間を決め、途中休憩を入れる。
(長時間海水に浸かっていると体温が奪われます。また、水分補給もこまめにするよう促してください。)



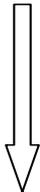
【8.指導者は安全管理を】

- ◆危険な行動や、指定した範囲外で活動している子はいないかなど、安全管理及び状況把握に努める。

1:20

【9.観察会】

- ◆時間になったら磯場からあがり、体をしっかりふく。
- ◆釣れたカニや、その他見つけた生き物などを観察する。
- ◆観察後、捕まえた生き物は住処へ返す。



【10.ふりかえり・まとめ】

- ◆面白かったところ、難しかったところなどを共有する。
- ◆活動中の子どもたちの様子で、よかった点などを取り上げ、次の活動につなげていく。

1:30

【11.終了・移動】

片付け

<時間>

実施終了直後

【12.片付け】

- ◆帰所後、更衣室横のシャワーで体の砂をよく落とす。
- ◆使用した竿(エサ、タコ糸ははずす)、バケツ、タライもシャワーで洗い、更衣場前に干す。
- ◆磯の生き物シートは水拭きして事務所、救命用浮き輪は更衣場に返却する。